0-15kg

対象年齢（新生児～４歳位）

B-MOBILE

Britax B-MOBILE

取扱い、使用説明書

B-MOBILE

B-MOBILEがお子様の人生最初の安全に寄与できればこの上もない幸いです。

お子様の安全は大人の責任です。

・この取扱説明書をよく読んで扱いを充分理解し、慣れてからお子様を乗せてください。

・もし誰かこのバギーを使い慣れていない方（例えば祖父母）が使われる時には、正しい使い方を充分説明してあげてください。

・当説明書に従わないバギーの使用はお子様の安全に悪い影響を与えることがあります。

・この取扱説明書は大切に保管し、いつでも見られるようにしておいてください。

・ご使用に関し判らないことがあればいつでもメーカーか販売店にお尋ねください。

Britax Excelsior Ltd.
㈲ティエック

＊取扱説明書は３輪及び４輪のB-MOBILE共通です。その部分を分けて説明しています。

３輪　B-MOBILE3
４輪　B-MOBILE4

目 次

1. 適応について …… 2
2. バギーの開閉 …… 3
3. 組み立て方 …… 3
4. バギーの使い方 …… 5
   4.1 ブレーキのかけ方 …… 6
   4.2 旋回前輪の調節 …… 6
   4.3 ハーネスの使い方と調節 …… 7
   4.4 背もたれ角度調節 …… 8
   4.5 フードの使い方 …… 8
   4.6 座席の外し方 …… 8
5. トラベルシステムとして …… 9
   ベビーシートの取り付け方
   5.1 ベビーシートの取り付け …… 9
   5.2 ベビーシートの取り外し …… 10
6. ベビーセーフ・スリーパーを …… 10
   使用するときの取り付け方
7. 他のアクセサリーと使用方法 …… 10
8. 点検とお手入れの方法 …… 11
   8.1 クリーニング …… 12
9. ２年保証について …… 13
10. 保証書及び受渡し書 …… 14

1.適応について

⚠ お子様の安全の為に

警告！ このベビーカーは新生児から体重15kgまでの乳幼児に対応しています。

警告！ このベビーカーは以下のような使用には適しません。
・…ベットやゆりかごの代用品として使用すること。キャリーコットベビーカーとも乳幼児を乗せて移動することにのみ使用が許可されています。
・…ジョギングや競技走行、スケーティングなどに使用すること。ベビーカー本来の目的以外に使用することは非常に危険です。
・…２人以上の乳幼児を１つのベビーカーに乗せること。
・…宣伝広告用に使用すること。
・…適合しないベビーシートをトラベルシステムで使用すること

B-MOBILEは右に説明する３通りの使用方法で生産・販売認可を受けています。

当該ベビーカーは欧州安全基準EN1883:2003（A1-A3:2005)に基づき設計・製造され認定を得ています。

誤生から体重15kgまで用
通常のバギーとして

注意！新生児が自分でお座りができる月齢(約６ヶ月位)までは、ベビーカーの背もたれを水平に倒した状態で赤ちゃんを寝せてご使用ください。赤ちゃんは常に付属のハーネスストラップを締めた状態でご使用ください。
月齢６ヶ月位まではハーネスの背ベルトは背もたれの一番下のスロットを通した位置に設定してください。

誤生から体重13kgまで、指定の
ベビーシートと共に
トラベルシステムとして

当該ベビーカーは、Britax-Romer社のすべてのベビーシートとの組み合わせで「Type A」アダプタを使い、トラベルシステムとして使用できます。

誤生から体重10kgまで、
ベビーセーフ・スリーパーと共に
「うば車」として

注意！ベビーセーフ・スリーパーは、まだ自分で「お座り」や「ねがえり」、自分で両手や膝を使って「ハイハイ」もできない新生児用に設計されています。
当該ベビーカーは、Britax-Romer社の「Type A」のシンボルマークがついているベビーセーフ・スリーパーのみ取り付けられます。

2.バギーの開閉

⚠ お子様の安全の為に

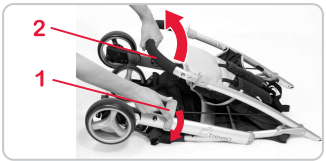
警告！ ご使用の前にすべてのロック機構が完全に閉じて動かない状態になっていることを確かめてください。

バギーを持ち運ぶ際にはロックが外れてしまっていないかを確認してください

バギーを立ち上げる時にはご自身や他の人が指などをはさまれないよう充分注意してください。

お子様を乗せたままの状態でバギーの開閉を絶対に行わないでください。

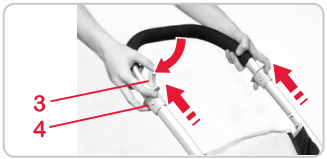
バギーの立ち上げ方



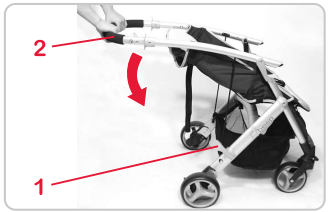
B-MOBILEのハンドル 2 を片手に持ち、もう一方の手でバギー右側のグレーの留め具を外します。

バギーのハンドル 2 をフレームが完全に開き「カチッ」と音がして180度の場外に接続をして収まるところまで上方に持ち上げます。

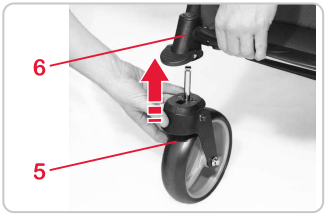
注意！ フレームパイプのジョイント部分ともしっかりと接続固定されていることを確かめてください。



手押しハンドル 2 の右側のセーフティレバー 3 を押しながら接続解除スナップ 4 を引き上げます。これでロックが解除されバギーが畳める状態になります。



手押しハンドル 2 をグレーの留め具 1 に自動的に収まるよう押し下げて畳みます。



バギーの畳み方

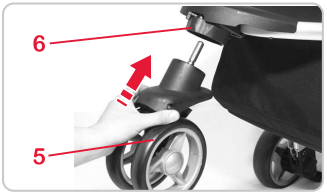
ヒント！ B-MOBILEは背もたれ20が垂直の状態にあり（4.4参照）フード11（3参照）が畳まれており、旋回前輪 5 がフリー状態で簡単に畳めます。（4.4参照）

2. B-MOBILEの組み立て方

前輪の組み込み方

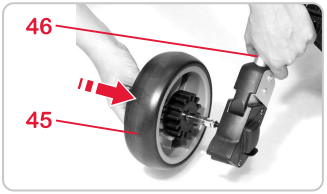
B-MOBILE 4

前輪 5 の金属アクスルをバギーの前輪マウント 6 に下方からはめ込みます。「カチッ」と音がして組み込まれます。



B-MOBILE 3

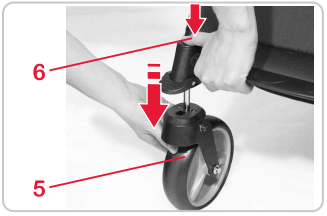
前輪 5 の金属アクスルをバギーの前輪マウント 6 に下方からはめ込みます。「カチッ」と音がして組み込まれます。



B-MOBILE 4 ／B-MOBILE 3

後輪45の金属アクスルをバギーのフレーム後ろ側の後輪マウント46に横からはめ込みます。「カチッ」と音がして組み込まれます。

注意！ 車輪がしっかりとマウントにはまっており、抜けてこないかを車輪を引いてみて確認してください。

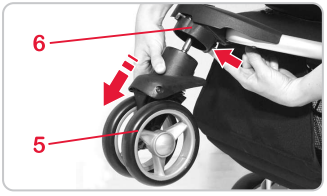


車輪の外し方

注意！ 旋回前輪のタイヤ 5 を直接掴むと指を挟んで怪我をする危険がありますので充分注意してください。

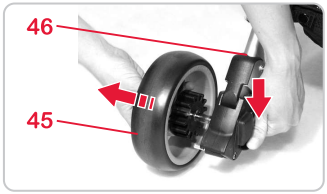
B-MOBILE 4

バギーの前輪のマウント 6 上部についているリリースボタンを押しながら旋回前輪 5 を引き抜きます。



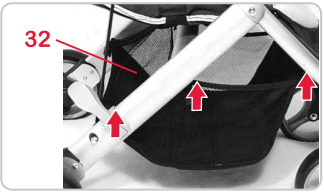
B-MOBILE 3

バギーの前輪マウント 6 裏側についているリリースボタンを押しながら旋回前輪 5 を引き抜きます。



B-MOBILE 4 ／B-MOBILE 3

後輪の車輪マウント46の留め具を下方に押しながら後輪45を引き抜きます。



ショッピングバスケット32の取り付け方

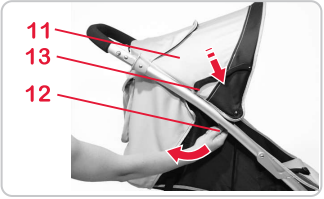
ショッピングバスケット32を深い方を前にしてバギー座席の下に置きます。

バスケット後ろ側のベルトストラップを垂直にフレームパイプの留め金に留めます。

その他のベルトストラップをバギーフレームの D-リングにそれぞれ留めます。

ショッピングバスケット32の外し方

すべてのベルトストラップを外します。

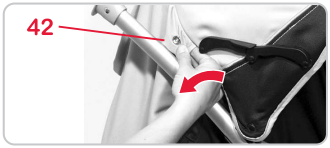


フード11の取り付け方

フードのクリップ12をフレームパイプにはめ込みます。

フードのテンショナーレバー13を押し下げます。

カバーの横をマジックテープで固定します。



フレーム内側の留め金にフードのスナップボタン42を留めます。

フードの外し方

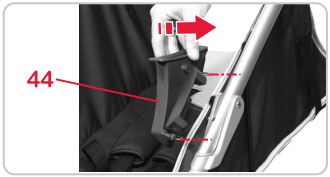
全てのマジックテープとスナップボタン42を外します。

フードのクリップ12をフレームパイプから外します。
フード11全体を外します。

トラベルシステム用アダプタ44の取り付け方

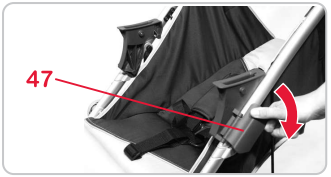
トラベルシステムのアダプタ44はバギーのフレームの左右両サイドに取り付けます。

ヒント！ アダプタのフラップ47がフレームの外側へくるよう、又、取り付けソケット部26が水平になるよう取り付けます。



アダプタのフラップ47をオープン状態にしておきます。

アダプタ44に付いている２本のピンをフレームパイプ内側に付いている穴にはめ込みます。



アダプタのフラップ47を押し下げて閉じてください。

トラベルシステム用アダプタ44の外し方

フラップ47を持ち上げオープン状態にし外します。

アダプタ全体44をバギーのフレームから引き抜いて外します。

4.ベビーカー、バギーとしての使用方法

⚠ 安全にお使いいただく為の注意

警告！ お子様をバギーに乗せた時は常にハーネスを締めた状態にしてください。

警告！ 短時間といえども座らせたお子様から離れることは危険です。

・重量 1 kg以上のものをフードのポケットに収納しないでください。

・フード11だけではお子様を100％紫外線から保護できません。日差しが強い場合は何らかの追加日よけ対策を行ってください。

・以下のことをお子様にさせないでください。
  ・バギーで遊んだりいじったりすること
  ・保護者の介助なしにバギーに座ること
  ・ショッピングバスケットに乗ったり、乗って走らせたりすること
  ・フットレストの上にのること

⚠ 使用中の注意事項

・坂道での駐輪は避けてください。

・公共交通機関で使用する場合には、バギーがしっかりと開いたあるいは畳んだ状態になっていることを確かめてください。

・交通機関の風圧でバギーが動くことがありますので、走行中の交通機関に近づく時はバギーのブレーキがかかっている状態でもしっかりと手で押さえておいてください。

・階段を昇る時やエスカレーターを使う時は、お子様をバギーから降ろして畳んでください。

・歩道縁石や路面電車の線路上、砂利道や石畳の道を通る時は注意が必要です。特に 3 輪は前輪をとられることがありますのでハンドルは常に両手で握ってください。

4.1 ブレーキの使い方

ブレーキのかけ方

後輪右側のブレーキペダル14を足で下に押し下げます。

注意！ バギーから離れる前にブレーキが完全に作動しているかを確認してください。

ブレーキの外し方

足でペダルを上方にもちあげます。

4.2 前輪の設定方法

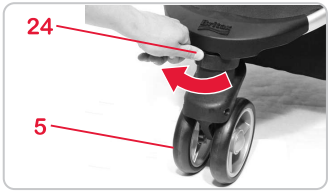
ヒント！ 道路の表面が平らでない場所では前輪を旋回させずにバギーをご使用ください。

前輪 5 の非旋回・固定方法

B-MOBILE 4

両側前輪 5 とも内側に収まり、クリップが前面にくるようにします。

クリップ24を足で下に押し下げます。



B-MOBILE 3

前輪 5 が内側に収まり、クリップが前面にくるようにします。

- クリップ24を手で左側にスライドさせます。

前輪 5 の旋回設定

B-MOBILE 4

- クリップ24を足で上方に引き上げます。

B-MOBILE 3

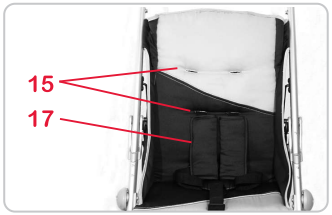
- クリップ24を手で右側にスライドさせます。

4.1 ハーネスの設定と調節

⚠ お子様の安全の為に

警告！ ハーネスは常に適切に設定調節されていなければいけません。

警告！ ショルダーベルトとクロッチベルトは常に一体で使用してください。

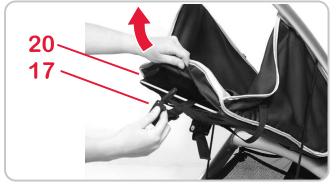


ハーネスの適切な設定と使用はバギーでお子様を安全に運ぶための必須条件です。

- 月齢 6 ヶ月未満のお子様はショルダーストラップ17が下方のスリット15から出るよう設定してください。
- **ヒント！** 安全基準BS6684で認可された社外ハーネスを使用する場合、バギーの両サイドに付いているD-リングを使えます。

ショルダーストラップの高さ調整

- ハーネスをバックルから外します。シートカバー背もたれ20の中板をマジックテープを外し開き外します。ショルダーストラップ17を背もたれカバーの裏側に引き抜きます。

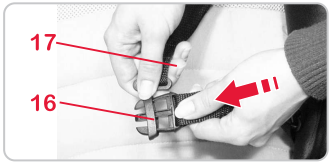


- 引き抜いたショルダーストラップ17を再びご希望の位置のスリット15から表側に通します。

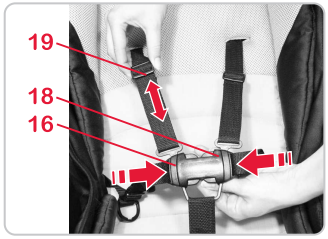
ハーネスの締め方

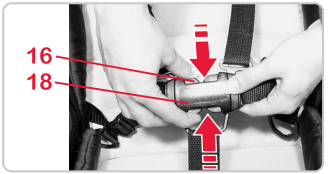
- クロッチストラップについているバックルタング16をショルダーストラップ17のスリットリングに両側とも差し込みます。

注意！ ベルトがよじれていないよう注意してください。



- 一体化したバックルタング16をバックル18に「カチッ」と音がするようはめ込みます。





- ハーネスの長さはアジャスター19を動かしハーネスを引くことで行い、適する長さに調節します。

ヒント！ ハーネスのそれぞれの部分はすべて独立しており、個別に長さ調節できます。

注意！ ハーネスはシートポジションを変える毎に適当な長さに調節してください。

ハーネスの外し方

- バックル18にはまっているバックルタング16を上下から押して外します。

ヒント！ すべて外したい時は、バックルタング16をショルダーストラップ17のスリットリングから引き抜きます。

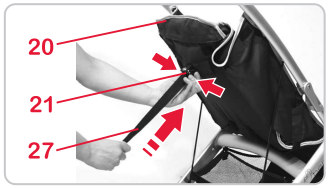
4.4 背もたれ(バックレスト)の角度調節

注意！ 月齢 6 ヶ月以内の乳児をのせる時はバックレスト20は一番水平に近いところに設定してください。

リクライニングの方法

バックレストを片方の手でしっかりとホールドしてください。

- 他方の手でストラップアジャスター21のレバー25をはさむように押します。
- バックレスト20を倒しご希望のリクライニング角度のところでレバー25を離します。



背もたれ20角度を戻す方法

- アジャスターストラップ27の端を片手でホールドします。
- 他方の手でアジャスターのレバー25を両側からつまみながらアジャスター21を上方に引き上げご希望のバックレスト角度が得られたところでレバーとストラップから手を離します。

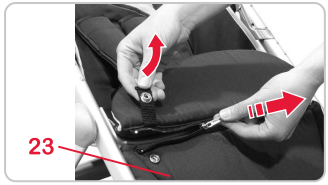
4.5 フード(サンシェード)について

ウインドー30の使い方

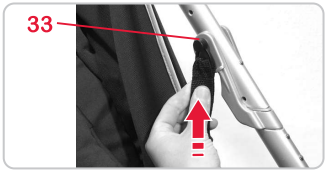
- マジックテープを外します。
- ウインドーカバー31を丸めて留めバンドで固定することができます。

4.6 バギー座席シートの外し方

B-MOBILEをトラベルシステムに使う時の座席シートの外し方



- レッグサポート部23のスナップ外します。
- レッグサポート部23のジッパーを開きます。
- フレームチューブに止まっている吊りバンドをフック23から外します。



- バックレスト20をフレームに付いた左右のスリットで支えている部分の座席シートのジッパーを開きシートをスロットから引き抜きます。
- 左右のロッドにとめられているスナップを開きます。
- これで座席シートを取り外せます。

座席シートの取り付け

- 外し方の反対を行うことで取り付けができます。

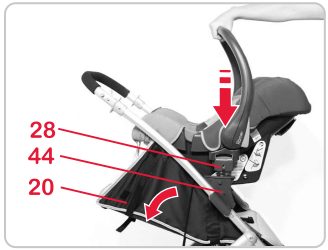
注意！ 通常のバギーとして再び使用する場合には、座席シートのすべての部分が揃っておりしっかりと固定されていることを確認してください。

5. ベビーシートと共にトラベルシステムとしての使用

自動車用のセーフティベビーシートの取扱説明書も参照ください。

B-MOBILEはBritax-Romer社のベビーシートを乗せてトラベルシステムとして使用できます。
ベビーシートは「A-Type」アダプターがついているものを乗せてください。

お持ちのベビーシートがベビーセーフやベビーセーフプラス〈プレミアム〉の場合は場合は別売りのA-Typeアダプターをお求めください。
（ベビーセーフプラスSHRはアダプターが内蔵されていますのでその必要がありません）



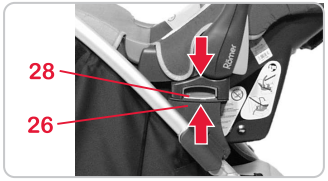
⚠ お子様の安全の為に

- **警告！** ベビーシートを乗せる前に、バギー側、シート側のアダプターが正しく装着、固定されていることを確かめてください。
- バギーを押す時や持ち上げる時は必ずバギーをつかみ、絶対にベビーシート側をつかまないようにしてください。
- ベビーシートを取り付け、取り外す時は必ずバギーのブレーキをかけて行ってください。

5.1 ベビーシートの取り付け

- バギーのブレーキ14をかけます。（4.1参照）
- B-MOBILEにトラベルシステム用アダプタ44が付いていることを確かめます。（3参照）
- バギーのバックレスト20は水平ポジションにしてください。（4.4参照）あるいは取り外してください。（4.6参照）
- ベビーシートを後ろ向きにバギーの上方にもってきます。

注意！ ベビーシートは絶対に前向きに取り付けないでください。

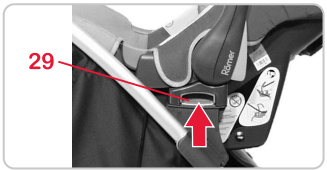


- ベビーシートのアダプタ28をバギーのアダプタソケット部26に両側とも押し込むと「カチッ」と音がして接続されます。

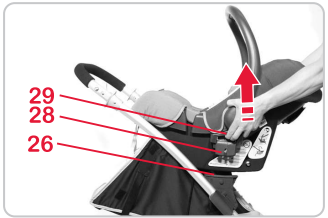
注意！ ベビーシートがしっかりとバギーに接続固定されていることを必ず確認してください。

5.2 ベビーシートの取り外し

ヒント！ ベビーシートに既にトラベルシステム用アダプタが内蔵されている(ベビーセーフプラスSHR)場合にはそのことがベビーシートの取扱説明書で説明されています。



- バギーのブレーキ14をかけます。(4.1参照)
- ベビーシートのキャリングハンドルを垂直ポジションにします。
- ベビーシートの両サイドのアダプタリリースボタン29を上方に押し上げます。



- バギーのソケット部26からシートのアダプタ28のタングが外れるようシートを持ち上げます。

注意！ ベビーシートはずっと両手でしっかりと持ったまま、この作業を行ってください。

- これでベビーシートがバギーから取り外せました。

6 キャリーコート、BABY SAFE Sleeper の使用

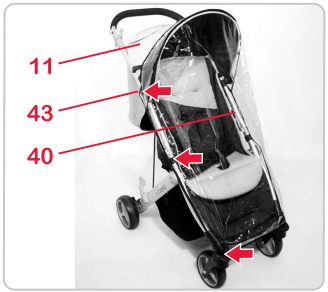
ベビーセーフスリーパーの取り扱いについてはベビーセーフスリーバーに付属の取扱説明書を参照して取り付けてください。

7 他のアクセサリーとその使用方法

B-MOBILEは別売りでレインカバー40と防寒フットマフ41を用意しています。ご希望の場合には販売店にお問い合わせください。

⚠ お子様の安全の為に

- レインカバーは絶対に屋内や炎天下、火気の近くで使用しないでください。お子様が熱中病や火傷の危険にさらされます。
- **警告！** お子様をバギーに座らせてレインカバーをつけたままその場を絶対に離れないでください。
- お子様をレインカバーで遊ばせないでください。



レインカバー40の取り付け

注意！ レインカバーを取り付けた時は換気に充分注意してください。

- バギーのフード11を一番拡げた状態にします。(3参照)
- レインカバー40をフードの前半分の部分からバギー座席部にかぶせます。
- バギーのフレームパイプに巻きつけるようにしてマジックテープ43で止めます。

フットマフ41の取り付け

- ハーネスをすべて解除、オープン状態にします。(4.3参照)
- ショルダーストラップとクロッチストラップをフットマフ41のスリットに裏側から表側に通します。
- バックルをフットマフ41の下方のスリットに裏側から表側に通します。
- バックルタング16を再びバックルに取り付けます。
- フットマフ41にはジッパーが付いていますのでお子様の乗せ降ろしの時に使用してください。
- **注意！** 安全の為バギーで移動中はお子様のハーネスはいつでも締めたままにしてください。

フットマフ41の種々の使い方

- フットマフはマット部とカバー部があり、ジッパーを開きカバー部を完全に外すことができます。
  カバー部を外せばシートマットとして使用できます。
- フットマフカバーの上部は縁を立ててウインドシールドとして使用できます。あるいは丸めてストラップで止めておくことができます。
- フットマフの頭の部分は布地をひもを使って縮めてフードの形にして使うことができます。

8. 点検とお手入れ

⚠ 安全性能をキープする為に

- バギーは定期的にすべての箇所を点検し、機械的な不具合がないか確認してください。
- ネジやナット・ボルトなどを点検し、ゆるんだりはずれたりしていないことを確認してください。
- 旋回前輪は定期的に掃除をし、必要なら油を差してください。ゴムや埃、固形物により走行性や操作性を悪くすることがあります。
- オーバー荷重や不適切な畳み方や異質の部品の使用等は故障の原因になることがあります。

・絶対に純正パーツやアクセサリー以外を使用しないでください。

・バギーは常に清潔に保ってください。

・バギーは長時間濡れたままの状態で放置しないでください。濡れた場合には広げたままで水分を拭き取り、室温で乾燥させてください。

・フードの上には重いものを置かないでください。

・ショッピングバスケットに収容できる最大重量は４kgです。

・航空機の機内ではバギーをしっかりと畳んで梱包してください。

使用しないバギーの安全な保管

・バギーの上に重いものを重ねないでください。

・火気のそばやヒーターのそばに保管しないでください。

・座席カバーが色あせますので直射日光の下で保管しないでください。

・湿気の多い気候の地域ではバギーを畳んだ状態で保管するとカビの発生の原因になります。
出来る限り風通しのよい場所で広げたままの状態で保管することをお薦めします。

ご自身で改善できる小さな不具合

車輪にきしみ音が出たり走行性が安定しない時
・アクセルと車輪が勘合するハブ部分にシリコンオイルを軽くスプレーしてください。

海岸でバギーを使った時
・付着した砂や塩分を完全にバギー全体と車輪から拭き取ってください。

タイヤにへこみが生じた時
・家庭用ヘアドライヤーをあてて軽くタイヤを温めると徐々にへこみがなくなります。
注意！高温は避けてください。

締め付けがゆるんだ時
・スクリュードライバーやレンチでスクリューやナットを締めつけてください。

部品が曲がったり、破れたり、破損した時
・部品を交換してください。
交換部品やアクセサリーはBritax-Romer社の取扱店か、Britax-Romer社にコンタクトしてください。

8. クリーニング

キャンバス布地はドライクリーニングや強力洗剤を使って洗わないでください。
布地にクリーニング方法の指示ラベルがついていますのでそれに従ってください。
手洗いの後、濡れたままの布地を日陰で乾かすのがお薦めです。

・シートカバーとフードは、少量の石鹸を入れた30℃位のぬるま湯をスポンジにつけて拭き取ります。

・フットマフの洗濯方法はフットマフの指示ラベルに従ってください。

・プラスチックと金属部分は湿らした布でふき取り清掃してください。
金属部分は清掃後はサビを避ける為充分に乾かしてください。

・レインカバーは湿らした布でふき取り清掃してください。
カビが発生しないよう濡れたまま畳んだりしまいこんだりしないでください。

製品の保証について

２年以内に通常使用で不具合、故障、破損などがあった場合には販売店までご連絡下さい。状況に応じて、補償の対象かどうか判断の後、製品の交換や無料修理で対応させていただきます。

●（ベビーカー、チャイルドシート）保証サービスを受ける前に

補償対象になる欠陥、故障などと思った時には、販売店あてメールかFAXで不具合の内容を具体的にお知らせ下さい。補償対象になるかどうか、製品の交換か無償修理での対応になるかの判断を販売店よりメールかFAX又は電話でお知らせ致します。

●（ベビーカー、チャイルドシート）保証制度

サービスを受けるには、製品を販売店から出荷した時の納品書か領収書、クレジット領収書のお客様用控、あるいは製品を購入した日付が記載されている運送業者の証明書類、不具合の内容を具体的に明記した物を同封して、購入された製品を販売店までお送り下さい。お客様の購入された製品を販売店に送るためにかかった送料、保険料金、あるいはその他の費用は、一切ご本人様の負担になります。

これらの購入を証明する物が無い場合は、販売店に納品書控えがある場合にのみサービスを受けられるものとします。

これらのサービスを受けられる期間は製品を受け取った（購入した）日から２年間とします。

●（ベビーカー、チャイルドシート）保証に関して…

以下に記載する項目に関しては補償致しません。

1. 在庫処分品など特別価格で販売された製品。
2. 通常の使用において自然に生じた磨耗及び品質の劣化。
3. 弊社扱い製品で、改造されたもの、放置されていたりメンテナンスが悪いもの、不当あるいは乱暴に扱われたもの、もしくは事故に遭遇して相当の衝撃を受けたもの。
4. 製品の運送時に起こった破損及び品質の劣化（この場合は運送業者に連絡して下さい。）
5. 組み立て、あるいは修理において不当な取り扱いを受けて製品に損傷が生じた場合
6. 材料や製造において生じた欠陥を除く原因による損傷。たとえば、使用者の取り付け不良、あるいは経験の欠如などによる損傷を含みますが、これに限定されるものではありません。
7. 製品の表面の仕上げや布製カバーなどに、美観、見栄えなどに生じた損傷や劣化。
8. その他常識的に判断して、通常の使用ではありえない損傷や故障。

10. 保証書　受け渡し書

お名前 _____

郵便番号 _____

ご住所 _____

_____

電話番号 _____

Eメールアドレス _____

チャイルドシート
or ベビーカー名 _____

商品番号 _____

モデル名 _____

附属品 _____

購入日（販売日） _____

販売者
（サイン） _____

販売店 _____

受け入れチェック　　レを入れてください

1. 装備品・部品欠品状況　☐ 点検しました　☐ 商品が完璧な状態で届けられ、すべての機能が完全な状態で動くことを確認しました。

2. 機能　☐ 商品購入前に機能の充分な説明を受け、又、使用上の注意事項、メンテナンスの方法を理解致しました。

シート調節機構　☐ 点検しました

ハーネス調節機構　☐ 点検しました

3. 外観損傷状況

シート・ベビーカー本体　☐ 点検しました

布カバー　☐ 点検しました

樹脂パーツ　☐ 点検しました

販売店スタンプ

製造元：

Britax Excelsior Limited
1 Churchill Way West
Andover
Hampshire SP10 3UW
United Kingdom

t +44 (0)1264 333343
f +44 (0)1264 334146
e service.uk@britax.com
www.britax.eu

BRITAX RÖMER
Kindersicherheit GmbH
Blaubeurer Straße 71
89077 Ulm
Deutschland

t +49 (0)731 9345 0
f +49 (0)731 9345 210
e service.de@britax.com
www.roemer.eu

輸入・販売元：

有限会社　ティエック
東京インポート・エクスポート＆コンサルティング
〒140-0014　東京都品川区大井5－6－3－105
Tel：03－5718－3050　Fax：03－5718－3051
E-mail：info@tiec.co.jp

ホームページ **http://www.tiec.co.jp**